

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 新川宗平
 (氏名) 世古哲久

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,467	△28.6	86	△47.5	69	△59.1	△19	—
27年3月期第2四半期	2,056	△0.9	164	△55.9	170	△56.6	79	△76.5

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △45百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 140百万円 (△60.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	△3.99	—
27年3月期第2四半期	16.03	15.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	3,308	2,164	64.8	431.53
27年3月期	3,128	2,212	70.4	444.80

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 2,146百万円 27年3月期 2,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円銭
通期	3,096	△15.7	123	△11.8	122	△21.3	68	249.6
								13.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	5,031,300 株	27年3月期	5,031,300 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	58,000 株	27年3月期	58,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	4,973,300 株	27年3月期2Q	4,967,562 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が回復基調で推移しており、また一部企業においても輸出や設備投資が増加し、緩やかな拡大が続いております。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、9月に国内最大のゲームイベントである『東京ゲームショウ2015』が開催されました。過去最多の37カ国・480の企業・団体が出展し、その内海外出展社数が246社と過半数を占める割合となりました。

スマートフォンの普及によりゲーム産業が世界規模で拡大し、それに伴い優良なコンテンツを保有する日本企業との商談を求める海外企業が増えてきております。

コンシューマーゲーム業界におきましては、平成27年10月1日からPlayStation4が値下げされたことにより、年末・年始商戦を通して新規ユーザーの獲得が見込まれます。

オンラインゲーム業界におきましては、スマートフォンやタブレット等の端末性能強化・通信インフラの発達・コンテンツの多様化により、幅広い年齢層へ普及率が上昇しております。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、全9タイトルを発売いたしました。オンライン事業におきましては、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツの配信を行ってまいりました。ライセンス事業におきましては、他社が配信するソーシャルゲームとのコラボレーションを行ってまいりました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,467,582千円(前年同期比28.6%減)、営業利益86,529千円(前年同期比47.5%減)、経常利益69,901千円(前年同期比59.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失19,839千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益79,647千円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(パッケージ事業)

パッケージ事業におきましては、国内外合わせて全9タイトルの発売を行いました。

国内市場では、『魔界戦記ディスガイア4 Return PlayStation Vita the Best』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『ディスガイア D2 PlayStation3 the Best』(PlayStation3専用ゲームソフト)、『真 流行り神 The Best Price』(PlayStation3及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『魔女と百騎兵 Revival』(PlayStation4専用ゲームソフト)、の4タイトルを発売いたしました。

海外市場では、『Operation Abyss: New Tokyo Legacy』(邦題:『東京新世録 オペレーションアビス』PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Danganronpa Another Episode: Ultra Despair Girls』(邦題:『絶対絶望少女 ダンガンロンパ Another Episode』PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Onechanbara Z2: Chaos』(邦題:『お姉チャンバラZ2 ～カオス～』PlayStation4専用ゲームソフト)、『Lost Dimension』(邦題:『ロストディメンション』PlayStation Vita専用ゲームソフト)、『Etrian Mystery Dungeon』(邦題:『世界樹と不思議のダンジョン』ニンテンドー3DS専用ゲームソフト)、の全5タイトルを発売いたしました。

グッズの制作・販売におきましては、新規グッズの制作や当社ホームページでの通信販売サイトにおける予約キャンペーンの展開を行い、既存顧客の満足度向上に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高979,392千円、営業利益40,156千円となりました。

(オンライン事業)

オンライン事業におきましては、PlayStation Networkを通じてダウンロードコンテンツやカスタムテーマの配信などを行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高395,599千円、営業利益185,324千円となりました。

(ライセンス事業)

ライセンス事業におきましては、クローバーラボ株式会社が配信しておりますAndroid OS及びiOS対応のゲームアプリ『ゆるドラシル』に、『魔界戦記ディスガイア』シリーズのキャラクターが登場するなどのコラボレーションをしました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高32,368千円、営業利益25,917千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社ブロッコリーから発売が予定されている『神々の悪戯(あそび)InFinite』(PlayStation Portable及びPlayStation Vita専用ゲームソフト)、『うたの☆プリンスさまっ♪MUSIC3』(PlayStation Vita専用ゲームソフト)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱うカードゲームショップ「プリニークラブ」の運営を進めてまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高60,221千円、営業損失4,228千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,308,982千円となり、前連結会計年度末に比べ180,107千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の増加(前連結会計年度末に比べ、142,632千円の増加)、仕掛品の増加(前連結会計年度末に比べ、108,994千円の増加)があったものの、現金及び預金の減少(前連結会計年度末に比べ、665,160千円の減少)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ344,258千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,144,499千円となり、前連結会計年度末に比べ227,750千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(前連結会計年度末に比べ56,049千円の増加)、短期借入金の増加(前連結会計年度末に比べ70,000千円の増加)、未払法人税等の増加(前連結会計年度末に比べ50,699千円の増加)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、退職給付に係る負債の増加(前連結会計年度末に比べ1,823千円の増加)等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,164,483千円となり、前連結会計年度末に比べ47,642千円の減少となりました。

主な純資産の増減は、その他有価証券評価差額金の減少(前連結会計年度末に比べ25,767千円の減少)、利益剰余金の減少(前連結会計年度末に比べ29,786千円の減少)等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は310,476千円となりました。これは主に、たな卸資産の増加額210,814千円、売上債権の増加額147,493千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は415,539千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出455,876千円、投資有価証券の売却による収入49,931千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は60,053千円となりました。これは短期借入金の純増額70,000千円、配当金の支払による支出9,946千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成28年3月期第1四半期決算短信(平成27年8月7日付公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当していませんが、ベトナム社会主義民主共和国で NIPPON ICHI SOFTWARE VIETNAM CO., LTD を設立し当四半期連結累計期間より連結対象となりました。なお、同社は連結子会社であるNIPPON ICHI SOFTWARE ASIA PTE. LTD の子会社であり、当社の孫会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、海外連結子会社に関して、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,243,044	577,883
受取手形及び売掛金	500,072	642,704
商品及び製品	96,264	197,095
仕掛品	153,305	262,300
繰延税金資産	62,969	62,859
その他	108,338	269,215
貸倒引当金	△1,700	△2,783
流動資産合計	2,162,295	2,009,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	290,694	283,963
機械装置及び運搬具(純額)	4,015	3,185
土地	191,379	191,379
その他(純額)	39,645	37,175
有形固定資産合計	525,735	515,703
無形固定資産	28,279	24,938
投資その他の資産		
投資有価証券	389,206	733,464
その他	23,358	25,600
投資その他の資産合計	412,564	759,065
固定資産合計	966,579	1,299,707
資産合計	3,128,874	3,308,982

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	189,555	245,604
短期借入金	260,000	330,000
未払金	107,058	125,278
未払法人税等	4,267	54,967
賞与引当金	100,773	53,798
売上値引引当金	134,297	156,168
その他	78,417	137,193
流動負債合計	874,368	1,103,010
固定負債		
退職給付に係る負債	18,737	20,561
その他	23,643	20,928
固定負債合計	42,380	41,489
負債合計	916,749	1,144,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,920	521,920
資本剰余金	511,920	511,920
利益剰余金	1,073,388	1,043,602
自己株式	△16,870	△16,870
株主資本合計	2,090,357	2,060,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,750	△47,518
為替換算調整勘定	132,685	133,075
その他の包括利益累計額合計	110,935	85,557
新株予約権	10,832	18,354
純資産合計	2,212,125	2,164,483
負債純資産合計	3,128,874	3,308,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,056,870	1,467,582
売上原価	1,290,600	737,140
売上総利益	766,270	730,441
販売費及び一般管理費	601,450	643,912
営業利益	164,819	86,529
営業外収益		
受取利息	2,070	12,559
受取配当金	8,963	3,232
投資事業組合運用益	89	—
その他	1,539	976
営業外収益合計	12,663	16,768
営業外費用		
支払利息	18	378
為替差損	4,523	32,176
投資事業組合運用損	—	593
その他	2,094	247
営業外費用合計	6,636	33,396
経常利益	170,846	69,901
特別利益		
投資有価証券売却益	—	331
特別利益合計	—	331
特別損失		
投資有価証券売却損	—	17,977
特別損失合計	—	17,977
税金等調整前四半期純利益	170,846	52,254
法人税等	91,198	72,094
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,647	△19,839
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,647	△19,839

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,647	△19,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,390	△25,767
為替換算調整勘定	47,701	389
その他の包括利益合計	61,091	△25,377
四半期包括利益	140,738	△45,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,738	△45,217
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	170,846	52,254
減価償却費	16,802	18,408
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,844	△47,415
売上引当金の増減額(△は減少)	46,145	22,389
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	1,083
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,540	1,823
受取利息及び受取配当金	△11,034	△15,791
支払利息	18	378
投資事業組合運用損益(△は益)	△89	593
為替差損益(△は益)	△726	△5,587
投資有価証券売却損益(△は益)	—	17,646
売上債権の増減額(△は増加)	△297,401	△147,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,149	△210,814
仕入債務の増減額(△は減少)	207,897	58,607
その他	57,039	△95,275
小計	145,043	△349,190
利息及び配当金の受取額	10,556	12,793
利息の支払額	△11	△393
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90,673	26,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,915	△310,476
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,529	△5,119
無形固定資産の取得による支出	△15,341	△3,771
投資有価証券の取得による支出	△470,143	△455,876
投資有価証券の売却による収入	388,639	49,931
貸付金の回収による収入	6,739	—
その他	△842	△702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105,476	△415,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	70,000
リース債務の返済による支出	△555	—
株式の発行による収入	1,470	—
配当金の支払額	△9,929	△9,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,985	60,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	41,236	801
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,660	△665,160
現金及び現金同等物の期首残高	890,385	1,243,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	912,046	577,883

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,618,761	363,564	20,241	54,301	2,056,870	—	2,056,870
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,618,761	363,564	20,241	54,301	2,056,870	—	2,056,870
セグメント利益又はセグメント損失(△)	77,804	209,712	16,804	△4,378	299,943	(135,123)	164,819

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額135,123千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ 事業	オンライン 事業	ライセンス 事業	その他事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	979,392	395,599	32,368	60,221	1,467,582	—	1,467,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	979,392	395,599	32,368	60,221	1,467,582	—	1,467,582
セグメント利益又はセグメント損失(△)	40,156	185,324	25,917	△4,228	247,169	(160,640)	86,529

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額160,640千円は当社管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。